

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	まちづくり研究はち おうじ 論文執筆	新規	まちづくり	市の事業に大学 等が協力	大学コンソーシアム八王子を通じて推薦された加盟校が、大学から見た八王子のまちづくりに関する論文を執筆し、都市戦略課が発行する「まちづくり研究はちおうじ」に掲載する。学園都市という本市の地域特性を活かし、市制100周年特別企画として開始するもの。	平成28年度～	学生発表会以外の機会を活かし、市と連携を図ることで、学生が発表する機会の拡大につながる。	平成28年度は、大学コンソーシアム八王子を通じて、工学院大学・東京工科大学の推薦を受けており、両大学で執筆した論文を掲載する予定。	
2	都市戦略部 都市戦略課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に開催に伴う 事前キャンプ誘致	新規	まちづくり	市の事業に大学 等が協力	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市が取り組む事前キャンプ誘致に協力いただき、大学のスポーツ施設をキャンプの際に提供いただく。市「スポーツキャンプガイド」や組織委員会等のHPにも、受け入れ候補施設として掲載している。	平成28年度～	現在、各国からの視察受入にご協力いただき、市としての事前キャンプ誘致を進めているところである。	法政大学・中央大学	
3	総合経営部 広聴課	はちおうじ出前講座	新規	教育	大学等の研究事業に市が協力	市民参加についての講義及び市政モニターアンケートの体験	平成28年6月2日	講座後の大学生へのアンケートから市民参加への関心を高めることができた。	創価大学	
4	行財政改革部 行政管理課	大学への講師派遣	新規	その他	大学等の研究事業に市が協力	八王子市の行財政改革の取組について、学生向けに市職員が講演。	平成28年11月22日	学生から関心が高い八王子市の行財政について、実務を担う職員から説明し、市の取組に対する学生の理解を深めた。	中央大学	御船ゼミ
5	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり 情報アプリによる山車の紹介 主催:八王子まつり 実行委員会	新規	まちづくり	市の事業に大学 等が協力	八王子まつり開催中のみ巡行される山車について、情報アプリを活用し、それぞれの山車の情報を紹介し、八王子まつり・山車の魅力を発信する。	平成28年7月～8月	まつり開催中に巡行する山車を現場で見て、身近なスマートフォンアプリの活用により、山車の新たな魅力を知ることができたと来場者からの評価も高い。	東京工科大学	メディア学部
6	市民活動推進部 学園都市文化課	学園都市文化芸術 研修	新規	芸術・文化	市の事業に大学 等が協力	市職員を対象とした研修	平成28年10月19日	本市は全国でも屈指の学園都市であり、様々な分野の第一線で活躍されている先生方がいる。そのような方々の業績や地域との関わりなどのお話を伺うことで、職員が学園都市としての八王子への認識を深めることができた。	デジタルハリウッド大学	学長 杉山 知之 氏
7	市民活動推進部 学園都市文化課	文化芸術ビジョンシン ポジウム	新規	芸術・文化	市の事業に大学 等が協力	文化芸術ビジョン策定を周知するシンポジウム	平成28年11月12日	文化芸術ビジョンにおいて重点的に取り組むことである「文化芸術の魅力を発信」について、デザインを専門とされている教授のプレゼンテーションを通じ、市民に向け紹介した。	明星大学	デザイン学部 萩原 修 教授

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高专と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
8	市民活動推進部 学園都市文化課	学生が地域課題を 考える授業に地元 企業及び市職員が 登壇	新規	教育	その他	実社会で起きている課題解決にチームで 取り組むPBL(Problem Based Learning)を行う 講座を産官学の共同授業として実施。市職 員が登壇した。	6月～7月	身近な地域の現状と課題について学 び、実例に基づく課題の解決にチー ムで取り組むことにより、学生の主体 的な学びの醸成及び地域理解に繋 がった。	東京薬科大学	生命科学部
9	市民活動推進部学園都 市文化課	甲子園パブリック ビューイング会場の 協力	新規	施設利用	その他	第98回全国高等学校野球選手権大会に、 八王子市から西東京代表として初出場した 八王子高校の試合(1回戦)のパブリック ビューイングを包括連携協定にもとづき首都 大学東京の施設で開催した。	平成28年8月11日	地域が一丸となって地元高校の活躍 を応援することができた。また、近隣 住民にとって、大学を身近に感じる機 会となった。	首都大学東京	
10	市民活動推進部学園都 市文化課	八王子学園都市ビ ジョン検討会	新規	まちづくり	検討会委員、講 師派遣等に協力	学園都市づくりの推進に係る基本的な考え 方を示す「八王子学園都市ビジョン」検討会 への委員就任を大学教員及び職員に依頼 した。	10月～3月	学生や大学等の置かれている現状や 地域と大学等の連携などの観点から の意見を反映することで、より充実し た内容にすることができた。	工学院大学 明星大学 杏林大 学 創価大学 首都大学東京	
11	市民活動推進部 学園都市文化課	「-産学官金-研究 シーズ発表会」を開 催	新規	産業振興	その他	多摩地域の企業や行政機関に向けて、工 学院大の建築・建築・都市計画分野の最先 端技術・最新知見を紹介、マッチングをは かる発表会を工学院大学・たましん・八王子 市で共催開催。	平成28年11月11日	大学の研究・活動の成果が地域社会 や地元企業に還元された。また、今 後の産学公の連携強化につながっ た。	工学院大学	研究戦略部 研究推進課
12	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子学園都市ビ ジョン表紙デザイン	新規	まちづくり	市の事業に大学 等が協力	「はちおうじ学園都市ビジョン」について、明 星大学と連携し、学生デザインの表紙を作 成した。	平成29年1月17日～ 平成29年3月31日	大学等と地域が共に発展するまちづ くりについて定めた基本方針に、学生 がデザインした表紙を取り入れること で、大学連携を推進することができ た。	明星大学	デザイン学部 萩原 修 教授
13	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王 子	小中学校教職員の ための大学等出前 授業見本市	新規	教育	その他	小中学校教職員を対象に、大学コンソーシ アム八王子の加盟大学等による小中学校 における出前授業のデモンストレーション や、出前授業実施に向けたマッチング相談 会を実施する。	平成28年7月24日	小中高大連携に取り組む大学コン ソーシアム八王子加盟校が、特色の ある授業を小中学校に提供する「出 前授業」の実施につなげることができ た。	工学院大学 東京工業高等専 門学校 創価大学 東京薬科 大学 東京家政学院大学 サ レジオ工業高等専門学校	
14	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王 子	八王子学生CMコン テスト	新規	まちづくり	その他	学園都市八王子の特色を活かし、学生なら ではの視点で八王子市の魅力を30秒の動 画CMにした作品を募集しコンテストを開催 する。	平成29年1月29日	学生が八王子市の魅力を発信する動 画CMの制作に携わることで、八王子 が持つ多様な魅力を学生が知るとと もに、地域に愛着を持つきっかけとな る。八王子市のPRコンテンツとして使 用し、市内外に発信することにより、 市民や他の地域の方の機運を高める ことができた。	東京造形大学 多摩美術大学 デジタルハリウッド大学	

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
15	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	佐賀大学ICT活用教育共同利用拠点の講習会	新規	教育	その他	大学間連携によるFD・SD事業の一環として、佐賀大学全学教育機構CLセンターより講師をお招きし、講習会を実施する。	平成29年2月3日	大学・短大・高専の連携による資源の共有化と相互補完、効率的な教育改革の推進を図った。	工学院大学 明星大学 杏林大学 創価大学 東京薬科大学 首都大学東京 東京家政学院大学 桜美林大学 佐賀大学	
16	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	視覚障害者を含む全ての人に開かれた作品についての実践的研究	新規	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	手で触れることで美術作品を鑑賞する展示会とワークショップの開催	平成29年12月1日～平成29年2月28日	美術鑑賞の機会の少ない視覚障害者等が美術館に訪れる機会の創出につながった。	多摩美術大学	
17	市民活動推進部 多文化共生推進課	ゲッゴル祭りへのパフォーマンス団の派遣	新規	国際交流	市の事業に大学等が協力	本市の海外友好交流都市である韓国・始興市で開催される「ゲッゴル祭り」に大学コンソーシアム八王子加盟25大学等を代表し、法政大学YOSAKOIソーランチームが出演した。	平成28年9月23日～平成28年9月25日	1 韓国・始興市の多くの市民に、日本の文化を知ってもらうことができる。 2 始興市との友好関係が深まると共に、市民交流の促進につながる。	法政大学	YOSAKOIソーランサークル「鳳遙恋」
18	総務部 統計調査課	経済センサスー活動調査	新規	その他	市の事業に大学等が協力	統計法に基づく基幹統計調査である経済センサスー活動調査において、首都大学のゼミから調査員の推薦を受け、任用し調査活動を実施した。 調査員の確保は、登録されている調査員の高齢化等により、年々厳しくなっている状況の中で、東京都統計部の所管からの申出により、大学と行政の連携として、首都大学と橋渡しをいただいた結果、ゼミ学生が授業の一環を兼て調査活動を行った。	平成28年5月16日～平成28年6月27日	不足する統計調査員の確保ができた。	首都大学東京	玉野ゼミ
19	市制100周年 記念事業推進室	NHKラジオ第一「キャンパス寄席」	新規	その他	その他	市制100周年のプレ事業として、NHKによる「キャンパス寄席」の公開収録を実施した。	平成28年10月15日	収録場所の提供を協力いただいたほか、同大学の学生・教員が参加した企画コーナーも行われた。	工学院大学	
20	生活安全部 防災課	多摩の魅力発信講座「多摩地域と防災」	新規	防災	その他	首都大学東京の先生が講師となり、講演とパネルディスカッションを通して、多摩地域で起こりえる災害とその対策について考える講座に職員が参加することで、講座の参加者の防災力の向上を図る。	平成29年2月12日	多摩の魅力発信講座に参加する市民等の災害に関する知識や防災意識の向上が図られるとともに、防災対策について専門家の見解を交えて理解することで自助、共助の推進を図ることができる。	首都大学東京	
21	生活安全部 防災課	杏林大学・地(知)の拠点整備事業CCR Cフォーラム	新規	防災	その他	大学の教員、事務方、学生、3市の職員(八王子市、三鷹市、羽村市)で、ワークショップを実施するほか、学生による防災に関する調査等を支援することで、参加者の防災力の向上を図る。	平成29年2月18日	フォーラムに参加した大学の教員、事務方、学生のほか、3市(八王子市、三鷹市、羽村市)職員の防災に係る課題の共有等が図られた。	杏林大学	

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
22	生活安全部 防犯課	客引き・スカウト行為等の防止	新規	その他	市の事業の周知に大学等が協力	八王子市生活の安全・安心に関する条例により規制している、客引き・スカウト等行為の防止について、学生への周知としてポスターの掲示や、違反行為者への指導時に活用する学則の提供等の協力を依頼した。	平成28年12月～	素早くポスターの掲示を実施していただき、そのポスターを学生がTwitterに投稿したことから多くの学生に周知することが出来た。また、指導時に活用する学則等の提供についても快くご対応いただくことができた。	八王子市及び隣接する地域の大学、短大、高専	
23	市民部 消費生活センター	工学院大学新入生ガイダンスでの啓発活動	新規	その他	市の事業に大学等が協力	4月の新入生ガイダンスの場で、消費者被害で若者が被害に遭いやすい手口やその対処法、消費生活センターの紹介を行う。	平成28年4月4日	講座や啓発グッズの配布を通じて、大学生に消費者被害に関する情報提供と消費生活センターの案内を行うことができた。	工学院大学	
24	市民部 消費生活センター	消費生活フェスティバル	新規	その他	市の事業に大学等が協力	消費生活に関する情報交換の場として、市民団体や官公署が消費生活に関する様々な展示等を行い、市民に情報提供を行う。 ※平成28年度第50回消費生活消費生活フェスティバルに今回初めて工学院大学が出展団体として参加。	平成29年2月4日	・消費生活フェスティバルの出展を通じて大学との連携強化が図れた。 ・大学生など若者に対して消費生活に関する啓発ができた。 ・来場者が展示場所に気軽に立ち寄り、多様な年齢層に働きかけが図れた。	工学院大学	
25	市民部 消費生活センター	消費者教育に関するアンケート調査	新規	その他	市の事業に大学等が協力	28年度に策定する「第2期消費生活基本計画」と「消費者教育推進計画」の基礎資料として大学生を対象としたアンケート調査を実施する。	6月	消費者教育に関するアンケートを通じて大学生の声を聞くことができたとともに、アンケートに協力してくれた大学生に啓発グッズを配布することで、消費生活に関する啓発することができた。	工学院大学 東京工科大学 創価大学 創価女子短期大学	
26	福祉部 高齢者福祉課	地域活動団体の広報支援	新規	まちづくり	市の事業に大学等が協力	地域の住民活動(主に高齢者への生活支援と介護予防に資するもの)を広く周知・普及させるため、その活動を紹介するイメージビデオやパンフレットを製作する。	平成28年度～	高齢者支援団体の取組みを広く周知することで、互助活動の普及・啓発を推進し、地域主体の生活支援体制を充実させるとともに、社会資源の一つでもある大学の専門性を活かし、地域と交流する機会を創出することで地域力の向上が図られる。	東京造形大学	
27	福祉部 高齢者福祉課	みなみおおさまカフェ	新規	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	学生が中心となり、高齢者をはじめとした地域住民が気軽に立ち寄れる「集いの場」を設ける。 (平成28年度事業開始、29年度以降継続・拡充)	平成28年度～	首都大学東京の学生と地域住民が気軽に交流できる場を設けることで、南大沢地域の活性化につながるとともに住民の社会参加を促し、地域の中で顔の見える関係が構築される。	首都大学東京	和氣ゼミ
28	福祉部 高齢者福祉課	住民主体サービス担い手養成研修	新規	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	地域の互助による生活支援を推進するため、その担い手となる住民を対象に、前提となる基礎知識等を習得する研修を実施する。 大学には研修のカリキュラム検討及び研修講師として協力を依頼。	平成28年度～	研修の実施により、高齢者福祉の現状や制度、高齢者の生活支援に関する知識を習得し、担い手となる住民が安心かつ信頼性のあるサービス提供を行うとともに多様な担い手の養成及び拡充が図られる。	創価大学	

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
29	医療保険部 地域医療政策課	東京医科大学八王子医療センター総合防災訓練(「緊急医療救護所」設置及び運営訓練)	新規	その他	その他	地震等の大規模災害時に設置される「緊急医療救護所」の設置訓練および、「緊急医療救護所」での患者受付・トリアージ・重傷者等搬送・軽症者処置等の運営訓練。	平成28年9月25日(日)	訓練に参加することで、災害時の医療体制に理解を深めてもらうこと、および、地域以内交流の促進に効果がある。	拓殖大学	
30	医療保険部 大横保健福祉センター	大横保健福祉センターまつり	新規	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	大横保健福祉センターまつりにおいて、2Fこども広場におけるこどもの見守り、また1Fふれあい工作室においては、来館者による工作の補助を行った。	平成28年11月26日	来館者には幼児や小学生も多く、年齢の近い大学生のサポートは大変効果的であり、本センターにおける多世代交流の一助となった。	東京工科大学 東京純心大学	
31	医療保険部 看護専門学校総務課	外部講師派遣事業	新規	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	本校の教育科目について外部講師の講師の派遣を依頼する。	平成28年4月1日～平成29年3月31日	本校の教育カリキュラムの効果的で効率的な実施が実現できている。	東京医科大学	
32	健康部 生活衛生課	薬物乱用防止啓発パンフレットの作成	新規	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	市内の中学生を対象とした薬物乱用防止啓発パンフレットの作成の中で、掲載内容の漫画化を依頼した。	11月～3月	市内の大学生が、若い目線で地元の中学生のために、漫画を通して薬物乱用の怖さを訴えることで、啓発の効果を高めることを期待した。	東京工科大学	漫画アニメーション研究部
33	子ども家庭部 保育対策課	創価大学つばさ保育所	新規	医療・福祉・健康	その他	創価大学構内に創価大学教職員及び八王子市民を対象とした事業所内保育施設「創価大学つばさ保育所」(従業員枠7名、地域枠3名)を創設。	平成28年9月1日～	従業員にとってより働きやすい環境を整えることができ、併せて待機児童解消を図ることができた。	創価大学	
34	子ども家庭部 児童青少年課	市制100周年記念事業 子どもフェスティバル	新規	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	市制100周年記念事業 子どもフェスティバルで「ヘアアレンジ」のブースを出展。子どもたちに様々なヘアアレンジを提供する。	平成28年10月10日	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	山野美容短期大学	
35	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	八王子市立看護学校実習生受入れ	新規	その他	その他	八王子市立看護専門学校の授業(「母性看護学実習」)の中で、学生を地域子ども家庭支援センターの広場で各1日受け入れる。	7日間	子ども家庭支援センターの役割を知ると共に、母子保健の観点から地域における子育て支援を考えることができた。	八王子市立看護専門学校	
36	都市緑化フェア 推進室	医療刑務所壁面アートの作成	新規	環境	市の事業に大学等が協力	医療刑務所の北壁を市民の参加により装飾するプロジェクト。大学の協力を得ながら、デザイン・コンセプト等についてのワークショップを地域住民と行ない、デザイン画をもとに壁面アートを作成する。	平成28年4月～平成29年10月末	地域住民の意見を反映させたデザイン案を作成することができた。	東京造形大学	生嶋教授 岩瀬准教授 宮崎助教
37	都市緑化フェア 推進室	田んぼアート作成	新規	環境	市が大学等にボランティアを依頼	はちおうじフェアの北エリアでの目玉事業として、高月地区の田園を活かして田んぼアートを作成する(平成28年度はフェア本番に向けての実験として実施)。	平成28年6月25日、26日	里山保全活動(田んぼの維持管理含む)を行なっているサークルの学生に田んぼへの植付けに参加してもらうことで、スムーズに作業を完了することができた。	東京薬科大学 創価大学	◆里山サークル ASIATO(薬科大) ◆美術部 (創価大学)

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
38	都市緑化フェア推進室	東部地域運営部会委員参加	新規	環境	市の事業に大学等が協力	はちおうじフェア東エリアの事業計画策定に学生が参加。今後イベントの運営等に協力してもらう。	平成28年6月～平成29年10月末	学生が地域運営部会に参加することにより地域交流を図ることができる。	東京薬科大学	里山サークル ASIATO
39	都市緑化フェア推進室	東部地域運営部会委員参加	新規	環境	市の事業に大学等が協力	はちおうじフェア東エリアの事業計画策定に学生が参加。今後イベントの運営等に協力してもらう。	平成29年1月～10月末	南大沢駅前花壇のリニューアルに参加することにより学生による地域貢献を実現することができる。	首都大学東京	総務課
40	都市緑化フェア推進室	東南部地域運営部会委員参加	新規	環境	市の事業に大学等が協力	はちおうじフェア東南エリアで実施するハロウィンイベント(10/9)において、大学・学生の協力を得ながらフェイスペイント、ネイルアートを行なう。	平成28年7月～平成29年10月末	イベントに参加することにより地域交流を図ることができる。	山野美容短期大学	
41	都市緑化フェア推進室	東南部地域運営部会委員参加	新規	環境	市の事業に大学等が協力	はちおうじフェア東南エリアで実施するハロウィンイベント(10/9)において、写真撮影用の背景パネルを作製する。	平成29年2月～10月末	準備段階からイベントに参加することにより地域交流を図ることができる。	東京造形大学	
42	資源循環部 ごみ減量対策課	食品ロス削減プロジェクト	新規	環境	市の事業に大学等が協力	東京造形大学の授業「サステナブルデザイン論D」の中で、食品ロスについて講義を行い、学生とともに啓発のアイデアを考えた。平成28年度の優秀作品は啓発物(ポスター・ステッカー)として活用する。	授業3コマ ※啓発物の活用は不定期(イベント等)	・印象的な啓発美術系の学生ならではの斬新な発想とデザインが、食品ロス啓発の効果を高めている。	東京造形大学	サステナブルデザイン論D(山際教授)
43	都市計画部 都市総務課	新たな集いの拠点施設の整備に向けた基本計画の検討に係る懇談会	新規	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市医療刑務所移転後用地活用計画に基づき、導入施設の整備・運営及び実現化手法の考え方等を示す、「(仮称)新たな集いの拠点施設の整備に向けた基本計画」の策定に向けて本市で行う検討・調査について、多様な観点からの意見聴取や意見交換を行う。	平成28年11月～	専門領域から検討・調査についての知見の提供	東京電機大学 首都大学東京 東京大学 多摩大学	遠藤薫特任教授 片桐由希子助教 小林真理教授 中庭光彦教授
44	都市計画部 都市計画課	高尾山口駅周辺地区都市計画方針の施策推進	新規	まちづくり	市の事業に大学等が協力	高尾山口駅周辺地区都市計画方針の施策推進	3年～5年(予定)	観光まちづくりや住民参加手法など専門領域からの知見提供	首都大学東京 都市環境学部都市環境学科 自然・文化ツーリズムコース	川原進研究室(観光まちづくり学)
45	都市計画部 都市計画課	高尾山口駅周辺地区都市計画方針の施策推進	新規	まちづくり	市の事業に大学等が協力	高尾山口駅周辺地区都市計画方針の施策推進	3年～5年(予定)	専門分野(交通計画学)からの知見提供	首都大学東京 都市環境学部都市環境学科 自然・文化ツーリズムコース	清水哲夫研究室(ツーリストモビリティ学)
46	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの講師派遣依頼	新規	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれでの取り組みについて講義を行う。	1年	学生が中心市街地に実際に来街するきっかけとなり、八王子のまちづくりに興味をもってもらった。	創価大学	法学部

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
47	拠点整備部 中心市街地政策課	おもてなし通信環境の整備事業への協力	新規	まちづくり	市の事業に大学等が協力	中心市街地に新設した公共Wi-Fiに接続した際に表示される、中心市街地を紹介するサイト「おもてなし八王子」のブラッシュアップのため意見交換を行う。	1年	より多くの方に利用してもらえるサイトを構築していくため、留学生や若者の目線から、建設的な意見をもらえるものと期待される(29年度本格実施)	拓殖大学	福田ゼミ
48	道路交通部 路政課	歩道の拡幅	新規	その他	その他	校舎の改築に伴い、市道に面する校地をセットバックし歩道として提供。	～3月30日	交通の多い都市計画道路の坂路部の歩道を拡げ、歩行者や自転車の通行の安全向上を図る。	工学院大学	
49	道路交通部 交通事業課	放置自転車対策	新規	環境	市が大学等にボランティアを依頼	2016年環境フェスティバルにて、西放射線ユーロード上に当課のブースを構え、啓発グッズの配布。	平成28年6月4日	1、意欲ある若者が啓発品を配布することで、市民に対する啓発効果の増進に繋がる。 2、イベント時に学生と協力して啓発を行うことで、キャンペーンのイメージをポップにできる。	東京工科大学	
50	道路交通部 交通事業課	飲酒運転根絶キャンペーン	新規	教育	市が大学等にボランティアを依頼	八王子駅を利用する乗降客や八王子駅周辺の飲食店、その利用客に対し「飲酒運転をしない・させない」、「ハンドルキーパー運動」を呼びかけ、飲酒運転に起因する重大交通事故発生を抑止を図る。	平成28年12月2日	多くの学生が協力していただいたこともあり、普段のキャンペーンよりも広く市民に伝えることが出来た。また参加学生自身にも飲酒運転の恐ろしさを啓発できた。	山野美容芸術短期大学 日本工学院八王子専門学校	
51	選挙管理委員会事務局	啓発物資の配布(参議院議員選挙)	新規	その他	市の事業に大学等が協力	大学の構内(食堂等)に啓発物資(ペーパーナプキン・ポケットティッシュ)を設置して選挙の啓発を行う。	平成28年6月22日～ 平成28年7月9日	若年層への選挙啓発(特に18歳・19歳の有権者)	創価大学 東京工科大学 工学院大学 東京薬科大学 山野美容芸術短期大学 杏林大学	
52	選挙管理委員会事務局	投票率向上のための調査研究	新規	その他	市の事業に大学等が協力	ゼミの研究テーマとして投票率向上を取り上げてもらう。	通年	研究成果を市の啓発事業に生かす。	帝京大学 杏林大学	水谷ゼミ 小暮ゼミ

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高专と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
53	学校教育部 指導課	教員資質向上のための研修プログラム開発事業	終了	教育	大学等の研究事業に市が協力	独立行政法人教員研修センターが公募する「平成28年度教員の資質向上のための研修プログラム開発事業」に創価大学教職大学院が応募申請するにあたり、連携・協働するもの。アクティブ・ラーニング推進校を5校指定し授業力の向上に取り組んだ。	7月～2月	アクティブ・ラーニングの普及・定着を図る上でのモデルとして、成果及び課題を全国に提示し、「教員の教育力の向上」に寄与するものであり、教職大学院と教育委員会との新たな関係性の構築を示した。	創価大学教職大学院	
	上川口小学校	「アクティブ・ラーニング推進校」研修プログラム				国語科におけるアクティブ・ラーニングを取り入れた指導方法の実践研究を通して、ファシリテーションスキル、リフレクションスキル、設計実践できるスキルの3つのスキルの習得を目指す。	本年度1年間	全教員による授業発表を行い、国語科にかかわらずすべての教科において取り組むことができた。発問のあり方や教材研究の重要性を知る契機となった。、児童の変化や反応等評価にかかわる視点も知ることができた。	創価大学教職大学院	長崎伸仁
	由井第一小学校	教員の資質向上のための研修プログラム開発事業				教員の資質の向上のため、次期学習指導要領改訂の要となるアクティブ・ラーニングについて、大学院と現場の教員が共に研究を重ね、市内外の学校・教員を対象に、研究の実践報告を行った。	平成28年6月～ 29年2月	毎月の校内研究会に、大学・大学院から講師を招き、授業検討・授業実施・研修会を行い、教員の授業力向上を図った。	創価大学・創価大学教職大学院	
54	生涯学習スポーツ部 学習支援課 (生涯学習センター 南大沢分館)	青少年講座	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	子どもプログラミング体験「電子ブロックMESHで便利な道具やゲームを作ろう」	平成28年11月19日 平成28年11月26日	行政単体では用意が困難な電子ブロックやタブレットを用いた講座によって、小学生にプログラミング的思考を体験する機会を提供することができた。実施に当たっては講師のほか大学生が参加し、子どもたち一人ひとりをケアすることができた。	東京工科大学	メディア学部
55	生涯学習スポーツ部 学習支援課 (生涯学習センター 川口分館)	青少年講座	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	「夏休みプログラミング体験講座」プログラミングの基礎を学んで簡単な『ゲーム』を作成する。	平成28年8月7日	プログラミング体験という専門的知識が必要な講座を設備が整っている大学の施設を会場として開催できた。また、学生がアシスタントとして参加し、市民との交流の機会となった。	東京工科大学	メディア学部
56	生涯学習スポーツ部 文化財課	世界に羽ばたく八王子車人形の世界展	新規	生涯学習	大学等の研究事業に市が協力	帝京大学総合博物館で開催された特別展に展示資料の調査確認及びPRに協力。	平成28年5月16日～ 7月27日	本市の民俗芸能である八王子車人形の魅力を大学を通して伝えることができた。観覧者も予定より多く7,789人の来場者があった。	帝京大学	帝京大学総合博物館 日本文化学科 細田明宏ゼミ
57	図書館部 生涯学習センター図書館 川口図書館	読書感想画・感想文コンクール表彰式	新規	教育	市が大学等にボランティアを依頼	表彰式会場の準備・受付等	平成29年2月4日	短時間で行わなければならない会場準備と、集中する来場者受付を処理する事ができた。	山野美容芸術短期大学	市との協定に基づくボランティア活動

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
58	図書館部 生涯学習センター図書館	大学図書館への八王子市関連資料提供	新規	生涯学習	市の事業に大学等が協力	八王子市内の大学図書館に八王子市関連資料を寄贈し、各大学が八王子コーナーを設置。情報提供を行い、学生等が八王子市に関心を持つ機会とする。	平成28年4月～	大学生等に八王子の歴史や魅力を知ってもらい、市図書館の利用や将来的に八王子市への定住のきっかけとする。	明星大学・創価大学:設置済 東京造形大学・山野美容芸術短期大学:検討中	
59	横山第一小学校	放課後子ども教室での理科実験教室	新規	教育	その他	本校の放課後子ども教室において、理科実験教室を開催。3つの講座を実施した。	平成28年11月16日	東京高専で毎年実施している公開講座を本校を会場に実施することで、全学年を対象に科学的な事象に触れる機会を提供することができた。	国立東京高等工業専門学校	
60	横山第一小学校	中国留学生との交流	新規	教育	その他	東京家政学院大学に留学している中国人留学生と小学生(6年生)との交流を通して互いの文化の違いへの理解を深めた。	平成29年2月8日	日本の文化や良さについて改めて気づくとともに、諸外国に対する理解が深まり、様々な国の文化や国民性を理解しようとする意欲が高まった。	東京家政学院大学	国際交流センター
61	横山第一小学校	小学生を対象とした意識調査	新規	教育	大学等の研究事業に市が協力	卒論のテーマに本校児童及び教職員が協力し、「小1ギャップ」及び「食に関する調査」を実施した。	9月	調査結果について報告書を提供してもらう。	東京家政学院大学	新海教授 小口教授
62	横山第二小学校	遠足(5・6年)	新規	教育	その他	遠足(5・6年生)の引率のお手伝い。	平成28年4月22日	児童とすぐに打ち解けて、歩行の際の安全確保をしたり、登山で疲労している児童を励ましたり、担任の引率の補助をしていただき、ありがたかった。	東京工科大学	
63	横山第二小学校	運動会	新規	教育	その他	運動会の用具準備係りのお手伝い。	平成28年5月28日	遠足でも一緒だったこともあり、主に運動会の用具準備係りの補助として、児童と一緒に準備や片付け等を手伝っていただき、とても助かりました。	東京工科大学	
64	長房小学校	3年社会科見学	新規	教育	その他	構内見学	平成28年11月4日	高い建物から市内の様子を観察できた。	東京工科大学	
65	由井第二小学校	運動会	新規	教育	その他	明星大学ダブルダッチサークルに依頼し、 ①運動会の係補助 ②運動会の全校種目の演出手伝いをしてもらった。	5月	①運動会の進行がスムーズになること。 ②全校種目で競技前の演出に出場してくれ、皆が毎年楽しみにしている	明星大学	
66	由井第二小学校	エンジョイスports	新規	教育	その他	年間7回、本校PTA主催の児童のスポーツ教室に日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの先生と学生を講師で招聘。	6月～2月	児童が様々なスポーツの専門的な指導が受けられることで、運動に親しみ、体力向上を図ることができた。また、学校と地域の連携も深まった。	日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジ	

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高专と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
67	由井第二小学校	PTA主催行事 由井二まつり	新規	教育	その他	PTA主催の行事「由井二まつり」際に、日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの先生と学生にスポーツゲームのコーナーを担当してもらっている。	7月	行事中のゲームコーナー(野球やサッカーの的当てや輪投げ等)で、楽しみながら運動に親しみ運動への興味関心を高めることができた。	日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジ	
68	由井第二小学校	PTA主催行事 餅つき大会	新規	教育	その他	PTA主催の行事「もちつき大会」の際に、日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの先生と学生にスポーツゲームのコーナーを担当してもらっている。	12月	行事中のゲームコーナー(野球やサッカーの的当てや輪投げ等)で、楽しみながら運動に親しみ運動への興味関心を高めることができた。	日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジ	
69	由井第二小学校	ダブルダッチ	新規	教育	その他	明星大学のダブルダッチサークルに依頼し、5、6年生に縄跳びの指導を行う。	2月	縄跳びの技術の向上や体力向上に役立っている。また、ダブルダッチという縄跳びの形態を体験することで、児童の興味・関心も高まっている。	明星大学	
70	鑑水中学校	国際理解教育	新規	教育	その他	本校で継続して行われていますが多摩美術大学の中国・韓国・タイの学生7人が本校の1年生の総合の時間に来校し交流した。	平成28年11月11日	本校の生徒も他国の文化や考えを知りとても良い勉強になりましたが学生さんも純粋な中学生のおもてなしを手放しで喜んでくれ相互にとって良かったと思う。	多摩美術大学	国際交流室
71	七国中学校	学生の卒論「教材開発」への協力	新規	教育	その他	学生が卒論に向けて作成した理科教材を、本校2,3年生に対して実際に授業で使用した。	2,3学期	パソコンやタブレットを使った教材で、生徒たちも関心も持って取り組んだ。	東京工科大学	松永ゼミ
72	由木中学校	ゲストティーチャー	新規	教育	市が大学等にボランティアを依頼	保健体育の武道授業におけるゲストティーチャー(女子柔道の実技指導)	2月中の2週間	保健体育の柔道の単元では、体育科の男性教諭が実技指導に当たっているが、女子の指導においては身体の接触が困難である。しかし、指導効果を上げるためには柔道の特性上生徒と接触する実技指導が必要である。そのため、女子柔道の専門家が必要である。	帝京大学	
73	宮上中学校	理科支援ボランティア	新規	教育	市の事業に大学等が協力	理科の授業準備・片付け・指導のサポート。備品・消耗品の整理等。	平成28年10月～平成29年2月	理科支援ボランティアの授業の準備・補助・片付けがスムーズ行われ、授業を円滑に展開できた。 また、理科室の備品・消耗品・薬品の整備の協力は、担当教員のそれにかかる時間を大幅に縮小させ、その時間を使って、他の校務や生徒に向き合う時間を増やすことに成功した。	明星大学	
74	宮上中学校	玉川大学 教職専門実習	新規	教育	大学等の研究事業に市が協力	教職専門実習生として、教職を目指す大学院生の教育現場における実習を受け入れ。	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)	現場におけるOJTは、貴重な実習体験となり、若い人材の教職を志そうとするモチベーションの向上につながる効果があると思う。	玉川大学大学院	教育学研究科 教職専攻

調査票A-①(平成28年度実績)

調査票A-①(平成28年度連携実績) : 平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間に、新規で大学・短大・高専と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	新規	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
75	上柚木中学校	特別支援教育支援事業	新規	教育	市が大学等にボランティアを依頼	特別支援学級拠点校として2年目となる。次年度は、校内通級の生徒も2倍となり、ユニバーサルデザインの授業の必要性が求められるようになった。特別支援教育の専門的な知見をもった学生と連携した教育活動を実践したい。	通年	校内通級の生徒の学校生活環境の向上や一人一人の教育的ニーズに応えられる教育活動の提供が効果的に行えるようになる。	明星大学	星山麻木先生の研究室